

## ふるさと教育 取組事例

学校名	益田市立鎌手小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3・4年	総合的な学習の時間	「水仙の里 鎌手について調べよう」	○ひと：地域の人（公民館、水仙農家、水仙公園づくりに携わった人、水仙キャンペーンに携わる人）、JA、「ふるさと鎌手」の歌を作詞・作曲した人 ○もの：水仙、水仙畑、唐音水仙公園、出荷場 ○こと：水仙の栽培作業
ねらい		○水仙の里鎌手に携わる人の思いや願いを知るとともに、「水仙の里 鎌手」に誇りと愛着をもつ。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>唐音水仙公園や地域の水仙栽培、水仙農家などについて、様々な方法で調べる。</li> <li>水仙農家の方と対話したり教えていただいたりしながら、球根掘り・植え付け・収穫作業等を体験する。</li> <li>地域の水仙キャンペーンに参加し、県内外の人にも鎌手の水仙についてPRする。</li> <li>水仙公園づくりに携わった方々に当時の作業の様子や思いを聞き取り、想いや願いを知る。</li> <li>「学びの成果発表会」で保護者や地域の方々に学習したことを伝える。</li> </ul> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水仙栽培を支える農家の“ひと”と関わることで、地域の行事や水仙公園“もの・こと”に目を向け、「水仙の里鎌手」と言われるようになった背景について知る。</li> <li>地域のデイサービスを訪問し、交流活動を通して水仙公園づくりに携わった方々から当時の話を聞き取る活動を設定し、地域の“ひと”と交流を図る。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会科とも関連付けながら、水仙農家の話を聞く活動を通して鎌手で栽培された水仙が県内外に出荷され、多くの人を喜ばせていることを学ぶ。</li> <li>農家を訪れ、実際に作業をしながら調べ活動を進めたり、農家の方を学校に招き水仙栽培にかける思いを聞いたりしながら学習をすすめた。</li> <li>学習でお世話になった地域の方や家族を招待して1年を通して学んだ成果や抱いた思いを聞いてもらう「学びの成果発表会（1月下旬）」で考えをアウトプットする。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水仙農家の方や「ふるさと鎌手」を作詞・作曲した人、水仙公園づくりに携わった方々との触れ合い、水仙についての調べ学習を通して、地域の特色を生かして生きる人の知恵や思いに触れ、その大切さを知ることができた。ふるさと鎌手の水仙の大切さを実感している姿が多く見られた。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>萩石見空港水仙キャンペーンや鎌手水仙ウォークに自ら参加した児童が複数いた。また、授業でお世話になった水仙農家へ冬休み中親子でインタビューに行き、自身の課題解決に取り組んだ児童もいた。このように教育課程外でも、地域にある水仙公園や勉強でお世話になった水仙農家、水仙公園整備に携わった地域の方々を誇りに思う言動が見られ、主体的に学びに向かう姿が見られた。</li> </ul> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動や調べ活動をすることが目的ではなく、目指す子ども像（ねらい）のために活動していることを意識していきたい。体験を通して学んだことが自分の生活や地域での暮らしの中での実践に繋がるためにも、インプット・アウトプット、学校内と学校外での学びの連続性などを意識していきたい。</li> </ul>			



令和5年度 ふるさと教育推進事業

